

平成18年度 府立南八幡高等学校 学校経営計画 実施まとめ

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>授業を大切に、生徒の能力を3年間で最大限に伸ばし、基礎・技能を身に付け、幅広い学力を育む活動を進める。また、規範意識と倫理観、公共心を育む活動を通じ、実践を通して、学校の評価と公開の推進に努める。そのもとに、学校の評価と公開の推進に努める。</p>	<p>普通科総合選択制と商業に関する専門2学科で設置の趣旨を達成し、平成18年度の最終の生徒と再編校への移行期に、1年生の進路保障を確保する。また、平成19年度に開設される再編校の伝統や校風を継承させ、特色のある学校づくりを一層推進する必要がある。</p>	<p>学校改革を着実に進展させ、特色ある教育活動の充実を図るとともに、魅力ある新学科の準備を進める。</p> <p>(1) 一つひとつの授業を大切にすることの徹底による、確かな学力の育成</p> <p>(2) 奉仕・体験活動や読書活動の充実による、豊かな人間性の涵養</p> <p>(3) 保護者・地域及び校種間の連携強化による、信頼される学校づくりの推進</p> <p>(4) 教職員相互の連携・協働体制の確立による、学校の教育力の向上</p> <p>(5) 教職員評価の実施に基づく、授業改善を核とした教職員の資質能力の向上</p> <p>(6) 生徒及び教職員の意識向上による、環境にやさしい学校づくりの推進</p> <p>(7) 魅力ある人間環境科の開設に向けた万全の準備</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
1 組織運営	1 効果的・効率的な業務体制を確立するとともに、目標による教育管理を計画的に進める。	<p>1 高校の円滑な再編に向けて、諸準備を行うとともに、マネジメントサイクルの定着により、業務プロセスの見直しと改善・効率化をすすめ、教育内容の充実を図る。</p> <p>2 教育環境の整備・充実により教育の活性化を促進する。</p> <p>3 特に資源ゴミの回収を徹底し、環境数値目標の設定による、3R（Reduce、Reuse、Recycle）に努め、環境にやさしい学校づくりをおこなう。</p> <p>4 危機対応マニュアルの充実、計画的な危機対応訓練の実施により安全な学校づくりに努める。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都八幡高校と連携し、再編統合に向けての準備を進めてきた。新学科の教育方針を決めたところである。今後は三年間を見通した教育内容の検討を進めていきたい。</li> <li>資源ゴミである「紙パック」の分別回収を実施し、学年・担任の指導・協力を得て、徹底した分別回収を行なうことができた。その結果、可燃ゴミの量を大幅に減らすこともできた。</li> <li>終業式や学年アッセンブリを利用し、防犯訓練などを実施した。</li> </ul>
2 学習指導 (研究研修) (家庭連携)	2 授業評価に基づく授業改善で、生徒の学力と教員の指導力を向上させる	<p>5 生徒による自己評価と授業評価を実施し、「わかる授業」を創造する。</p> <p>6 計画的に研究授業や教員研修を実施し、教科指導體制の充実と指導方法の改善を図る。</p> <p>7 保護者等対象の公開授業を計画的に実施し、授業の状況について意見を聴取する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月の教務部研修会にて、アンケート結果報告。第1回より第2回の結果の方が良い。わかる授業の実施率も82%となった。</li> <li>専任教員の実施率70.6%。「授業の雰囲気がいよ」の割合80.3%（通年）</li> </ul>
3 教育課程の編成と実施 (地域連携) (学習指導)	3 創意ある教育活動を展開し、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、「生きる力」の育成に努める。	<p>8 小中高連携、コースアドバイザーによる高大連携及び地域連携を促進し、教育活動の拡大と深化を図る。</p> <p>9 介護交流体験及びインターンシップを通して、実社会と繋がる啓発的経験をさせるとともに、</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定通りのコースアドバイザーの活用ができた。</li> <li>インターンシップや介護交流体験を実施し、コミュニケーション能力を高め、発表能力を高めた。</li> <li>朝読書は、昼休みに図書委員による放送を実</li> </ul>

(読書指導)  (課外活動・特別活動)		コミュニケーション能力を高める。また 研修旅行の体験発表会を実施し、共通理解とプレゼンテーション能力を高める。		B	<p>施した。ほんの持参率は、若干の増加がみられた。年間を通しての持参率は、33.0%であった。最高は5月18日の59.8%。計画通り、実施はできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合を目前に、合同で練習し、合同チームで試合に出場するなど、両校が活発に交流した。しかし、生徒の移動の問題、施設の使い回しなど課題が残る。</li> <li>・通常のボランティア活動に加えて京都総文へのボランティア活動も積極的に参加でき、関係者から大きな評価をいただいた。</li> </ul>		
	4	読書活動推進計画に基づき、読書習慣の定着を図る。	10	C			
	5	部活動の活性化を図り課外活動を充実させて、ボランティア活動の推進に向けての組織等を整備し、生徒の参加を拡大することで、特別活動を充実させる。	11 12	C A			
4	生徒指導	6	朝の遅刻指導を徹底し基本的な生活習慣の確立を図る。	13	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の遅刻数が平均1年生3.3人、2年生5.7人、3年生1.8人であった。遅刻の多い生徒には時差登校をさせた。</li> </ul>
5	進路指導  (家庭連携)	7	「フロンティアプログラム」を充実し、望ましい勤労観・職業観を育て進路希望の実現を図る。	14	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査を実施し、分析及び進路相談(活動)の資料とできた。</li> <li>・進路ガイダンスの実施と評価が予定通り実施できた。</li> <li>・進学模擬テストの受験指導等(事後指導)を実施できた。</li> </ul>
				15	B		
6	人権教育  (地域連携)	8	「グローバル人権」を充実し、豊かな人権感覚と人権尊重の実践的態度を涵養する。	16	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の取り組みについては、順調に終わることができた。しかし、一部生徒の中には不適切な言動があり、さらなる意識向上のための継続的な取り組みが課題である。</li> <li>・昨年度に比して、福祉教材の貸出や福祉学習におけるジョイント授業などの依頼が増加している。これは、本校の福祉教育や人権学習の取り組みの成果である。来年度以降も継続的に行えるよう連携し、環境整備を行いたい。</li> </ul>
				17	A		
7	健康安全  (生徒指導)	9	PTAと連携して、子ども「命と健康を守る」取り組みを総合的に推進する。	18	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検診等を確実にしない、その結果を生徒・保護者に連絡することができ、栄養や歯科疾患の改善指導を個別的・全体的に取り組んだ。喫煙指導については、単発的な広報活動だけで十分な成果をあげることができなかった。</li> <li>・保護者・警察署との連携により、自転車運転マナーの指導を3回実施した。</li> </ul>
				19	C		
8	家庭・地域社会との連携	10	広報活動を充実させて学校に対する地域社会の理解を深める。	20	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副校長、新学科準備部と連携しHPの更新ができています。</li> <li>・山城通学圏の中学校に対しては、一定の周知を図ることができたが、京都市域の中学校には、困難な部分もあった。今後は、少しでも新学科への理解が深められるよう広報に努めたい。</li> </ul>
				21	B		

南八幡高校スクールマネジメントプラン2 1 (10の重点目標と21の方策)